

経済・金融 フラッシュ

貿易統計 09年1月 ～輸出額が前年比ほぼ半減

経済調査部門 主任研究員 斎藤 太郎

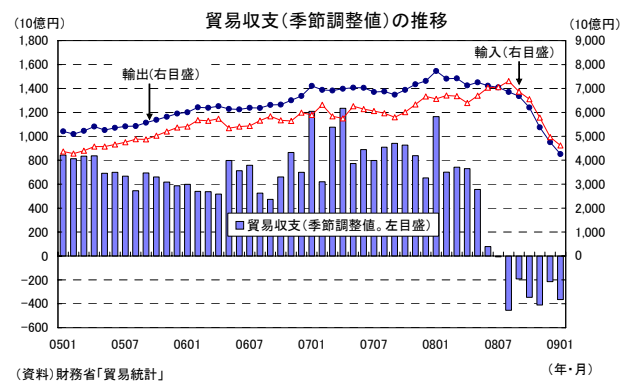
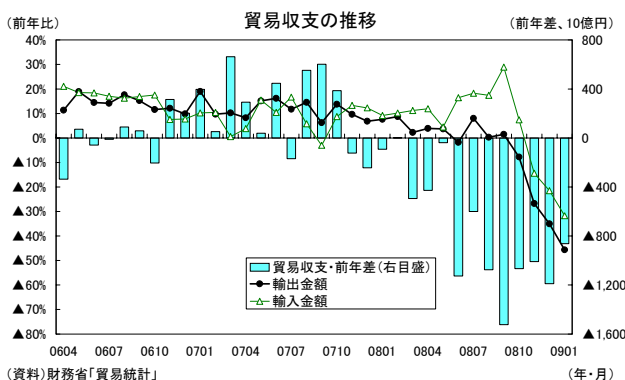
TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 輸出額が前年比ほぼ半減

財務省が2月25日に公表した貿易統計によると、1月の貿易収支は▲9,526億円と4ヵ月連続の赤字となったが、赤字幅は事前の市場予想（ロイター集計：▲11,295億円、当社予想は▲14,996億円）を下回った。輸出の減少幅が前月の前年比▲35.0%から同▲45.7%へと拡大する一方、輸入の減少幅も前月の前年比▲21.5%から同▲31.7%へと拡大した。

季節調整済の貿易収支は▲3,649億円と6ヵ月連続の赤字となり、赤字幅は前月の▲2,142億円から拡大した。輸出額は08年10月の前年比▲7.8%の後、11月が同▲26.7%、12月が同▲35.0%と減少幅の拡大が続いていたが、09年1月には減少ペースがさらに加速し、前年比でほぼ半減となった。

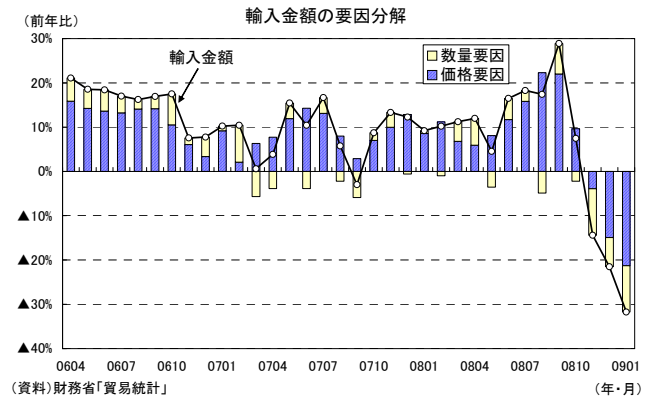
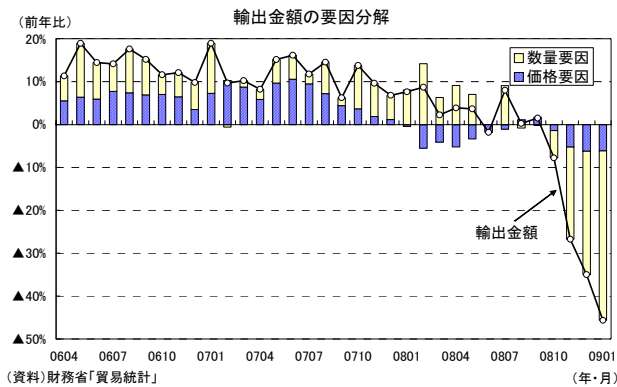
なお、1月のアジア向け輸出の落ち込み（前年比▲46.7%）には旧正月（春節）の影響（昨年2月上旬だった旧正月が今年は1月下旬）が含まれている可能性がある。中国海関総署は、1月の中国の輸入は旧正月の影響で前年比▲17%程度押し下げられたと発表している。アジア向け輸出の実勢を見るためには1月、2月分を均して見る必要があるだろう。



輸出の内訳を数量、価格に分けて見ると、輸出数量が前年比▲41.1%（12月：同▲29.9%）、輸出価格が前年比▲7.7%（12月：同▲7.3%）であった。

輸入は、円高、原油価格下落の影響などから輸入価格が前年比▲22.6%（12月：同▲15.5%）とマイナス幅が拡大したことに加え、国内需要低迷を反映し、輸入数量も前年比▲11.8%（12月：同▲7.1%）と二桁の落ち込みとなったため、前年比▲31.7%（12月：同▲21.5%）とマイナス幅が

拡大した。

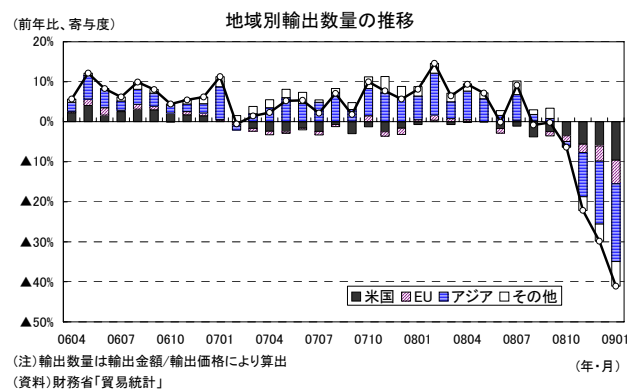
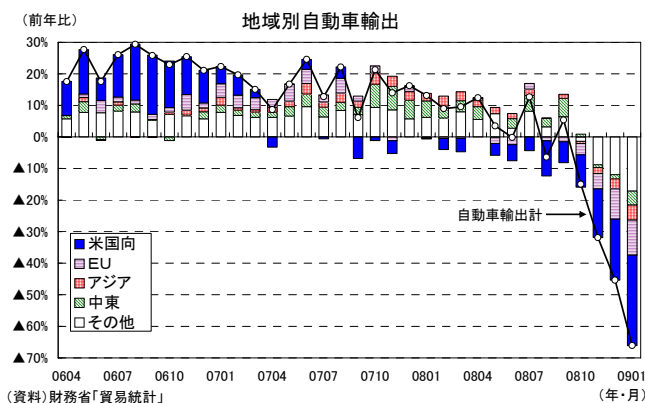


2. 米国向け自動車輸出は前年比8割減

自動車輸出は前年比▲66.1%（12月：同▲45.4%）と減少幅がさらに拡大した。地域別には、米国向け（前年比▲80.7%）が前年比で8割以上の急速な落ち込みとなったほか、EU向け（同▲69.7%）、アジア向け（同▲58.5%）も6～7割の大幅減少となった。

1月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比▲48.6%（12月：同▲31.3%）、EU向けが前年比▲42.0%（12月：同▲29.7%）、アジア向けが前年比▲39.3%（12月：同▲30.6%）といずれも減少ペースが加速した。また、当研究所で試算している主要3地域（米国、EU、アジア）以外の「その他地域」向けの輸出も前年比で40%近いマイナスとなった。

08年10-12月期のGDP1次速報では、輸出が前期比▲13.9%の大幅減少となり、外需が成長率を▲3.0%（寄与度）押し下げた。輸出の大幅な減少が当面続くことは確実とみられるため、10-12月期に前期比2.9%の増加となった輸入が、内需低迷に伴いどれだけ落ち込むかが、09年1-3月期の外需のマイナス幅を左右することになるだろう。



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。